

流行ニュース：**<オランダにおけるラッサ熱の輸入症例>**

シエラ・レオネのケネマで働いていた際ラッサ熱に感染した48歳男性の外科医が、7月25日、入院中のライデン大学病院で死亡した。2000年にヨーロッパに移入したラッサ熱の症例は今回で4件目である¹。そのうち1例は急性感染が直接死因ではないが、4症例すべて死亡した。参照¹No.3,2000,p.17-18, No.11,2000,p.85, No.14,2000,p.189

<はしか、アイルランド>

7月29日現在、国立疾病監視センターは2000年1月1日から死亡2症例を含む1376症例のはしかが発生したと報告している。症例のほとんどがダブリン北部の市街地で起きている。

今週の話題：**<WHO 西太平洋地域における HIV/AIDS の現状（1999年推計の更新）>**

*概要：WHO 西太平洋地域事務局は加盟国とともに、HIV および AIDS の現状、傾向と推計を分析した。1999年未まで、HIV 感染者は約900,000人、同年の新規 AIDS 症例は少なくとも15,000人と推計された（表1）。HIV 伝染様式は西太平洋地域において4様式が認められる。

(1) HIV 高罹患率とその増加 - カンボジアやパプアニューギニアの一定地域での異性間の伝染

(2) 中国とベトナムでの IDU（薬物常用者）間の HIV 高罹患率および異性間の HIV 伝染の増加

(3) オーストラリアとニュージーランドでの HIV 罹患率の減少

(4) 他のすべての国々における HIV 低罹患率

同地域での全 HIV 感染者数は、2000年未までに1,000,000人を上回ると予測される。

表1: WHO 西太平洋地域の HIVとAIDSの推計（1999年）

国	HIV 推定罹患数 (15歳～49歳)	HIV 推定罹患率 (15歳～49歳)	AIDS 推定有病数	流行状態
オーストラリア	14 000	0.11%	± 200	減少傾向；同性愛間が大半
カンボジア	170 000	3.3%	10 000	固定傾向；異性間
中国	500 000	<0.1%	...	増加傾向、IDUが大半、異性間伝染の増加
香港	3 700 ^b	<0.1%	± 60	固定
日本	8 100 ^b	<0.1%	±200	固定
ラオス	1 400 ^b	<0.1%	>50	固定
マレーシア	50 000 ^b	0.4%	900	固定；IDUが大半
ニュージーランド	1 200	<0.1%	± 30	減少；同性愛が大半
パプアニューギニア	14 000	0.6%	150	特定の地域で増加。異性間伝染
フィリピン	±10 000	<0.1%	>50	徐々に増加；異性間
韓国	3 800 ^b	<0.1%	± 30	固定
ベトナム	>120	固定
シンガポール	100 000 ^b	0.24%	3 700	増加傾向、IDU 異性間伝染の急速な増加
Total	>876 200	-	>15 490	

^a 2000年8月にWHO西太平洋地域局によって更新された。

^b 推定に基づく

.. = データ入手不可能

* 国別分析

オーストラリアとニュージーランド：AIDS 罹患率は減少傾向にある。これは（ ）AIDS 患者に対する抗レトロウイルス療法の導入（ ）同性愛者間での感染率の固定化、による。HIV 伝染の減少も確認されているが、HIV 有病率は HIV 感染患者の死亡者数減少のため増加している。

カンボジア：HIV 感染は深刻で、アジアでは HIV 有病率が最も高い。1999 年 HIV 血清疫学データでは、過去 2 年間の HIV 有病率の固定が確認できる。さらに現在若年セックスワーカーの感染罹患率の減少が認められる。これは、セックスワーカーのコンドーム使用率が急速に増加したという、行動サーベイランスの結果による。AIDS 患者数は急速に増え続けており、2005 年までには年間罹患患者数が約 30,000 人（成人 25,000 人、子供 5,000 人）まで増加することが予測されている。

パプアニューギニア：HIV 伝染は首都 Port Moresby 市で広がっているとされ、調査対象としたセックスワーカーで 16%、1998 年首都の STI クリニック受診者で 7%の HIV 有病率であった。

フィリピン：高リスクグループにおいて低い HIV 有病率（< 1%）を示している。

中国：HIV が IDU（薬物常用者）間で急速に広がり続ける一方、最近多くの地域でセックスによる伝染の増加が認められている。AIDS 患者数推計は入手不可能であった。

ベトナム：特定の地域でセックスワーカーや他の女性（例えば妊婦健康サービス参加女性）の HIV 有病率が急速に増加しつつある。1999 年 9 月ホーチミン市では女性セックスワーカーの 19%に HIV 感染が見られた。他の推計は過去数年において作成された予想から設定された（香港中国政府特別行政区、日本、ラオス人民共和国、マレーシア、韓国、ベトナム）。その他の国/地域では、低い罹患率が報告されている。

< 食用動物への抗菌剤の使用法 最新 WHO 勧告 >

WHO は食用動物への抗菌剤の使用に関するリスクの緩和を目的とする原則を発表。2000 年 6 月 5 日から 9 日にかけて医学および獣医学者、製薬会社や国連食糧農業機関（FAO）、世界動物保健機構などの国際組織の専門家により、6 つの重要な関連分野（抗菌剤の登録、配布および販売、宣伝、監視体制、教育および訓練、正確な使用法）について議論された。「食用動物への抗菌剤使用による抗菌剤耐性の抑制のための新しい原則」の中に含まれる、もっとも重要な方策のいくつかは以下のとおり。

- ・食用動物に対する疾病管理のために使用されるすべての抗菌剤に関する処方原則
- ・成長促進のための抗菌剤使用の終結または急速な削減（抗菌剤が公衆衛生の安全な評価なしに、人間の治療にも使用される場合）
- ・食用動物への抗菌剤使用監視体制システムの設立
- ・人の薬物に対する潜在的耐性を考慮した抗菌剤の安全性評価
- ・生じ得る健康問題確認のため薬剤耐性の監視および健康保護のための適切な対処
- ・食用動物への抗菌剤の過剰投与および誤った使用を減らすための獣医師用ガイドライン

< 流行傾向にある伝染病の世界規模の調査 WHO 報告 >

伝染病調査結果、および資料の短所と長所、資料使用や解釈法などを紹介。各章では特定の病気に関する情報、参考文献等が記載されている。（各疾患別の HP アドレスは WER 参照）

< 出版紹介 >

『媒介動物の管理 個人及び地域での利用』

本著は、個人や地域での使用のための、媒介動物管理法に関する初の包括的ガイドブックである。専門家でない人たちが、特定の疾患における媒介動物の役割を理解し、適切で効果的かつ安全な管理法を選択し、使用することができるよう、手助けをすることを目的とするものである。' Vector control methods for use by individuals and countries '（英語版/フランス語版） 118.8 米ドル/132 スイスフラン 注文番号 1150448（問い合わせ先は WER 参照）

< クロイツフェルト-ヤコブ病 感染管理に関するガイドライン草案 >

WHO は入院中や在宅で伝染するクロイツフェルト ヤコブ病およびその他のスポンジ性脳症管理に関するガイドライン草案を発表した。 <http://www.who.int/emc-documents/tse/whocdscsraph2003c.html>

流行ニュースの続報：< インフルエンザ >

アルゼンチン（2000 年 8 月 7 日）¹、チリ（2000 年 7 月 31 日）²、香港（2000 年 8 月 7 日）³、メキシコ（2000 年 7 月 25 日）⁴からの報告。詳しくは WER 参照のこと。参照 ¹No.29,2000,p.240, ²No.30,2000,p.248, ³No.31,2000,p.256, ⁴No.27,2000,p.224

（鎌田理之、米田稔彦、宇佐美眞）